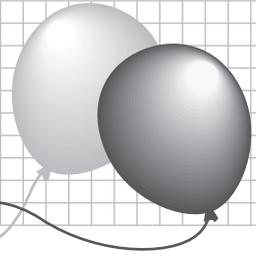


話題の広場



中央会事業より

組合活力向上事業を実施～大館市御成町二丁目商店街振興組合

6月21日(木)、大館市の「御成町ゼロセカンド」において、大館市御成町二丁目商店街振興組合を対象に、「まちづくりのための強い店づくりをどのように進めるか」を目的として、組合活力向上事業を実施しました。

今回は、早稲田商店会相談役の安井潤一郎氏を講師として「間違いだらけの商店街(まち)づくりを変えてみる」というテーマで研修会を開催しました。

安井氏は、衆議院議員時代に全国の商店街を訪問した経験の中からいくつか実例を挙げ、「商店街が街区として一様に活性化したり再生したりするのはほぼ不可能である。商店街の中に一店でも多く『強いお店』や『工夫するお店』を創出することが、商店街の再生に繋がる。」と強調し、さらに、まちづくりのポイントとして、「商店街は、地域の住民の安全を担保し、文化継承の担い手として、住民が住んでいて良かったと思える存在にならなければいけない。」と提言されました。

参加者からは、まちづくりのヒントが得られたと好評でした。

組合活力向上事業を実施 ～協同組合秋田印刷センター

7月3日(火)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において、協同組合秋田印刷センターを対象に、「激しい価格競争から脱却するため、印刷業から総合的な情報発信支援業への転換を図る」ことを目的として、組合活力向上事業を実施しました。

今回は、株式会社ビジネスコミュニケーション研究所代表取締役の田中信一氏を講師として、業態変革の必要性や顧客に対する情報発信支援のポイント等について学びました。

田中氏は、「印刷物を納品すれば仕事が終わりではなく、その前後の活動を把握し、お客さんの課題解決のための具体的な提案が行えるかどうか」が重要である。」と提言されました。

参加者からは、「グラフを用いた具体的な説明により、変革の必要性を十分に認識させられた。」「お客さんのニーズ把握に努めたい。」などの声が多く聞かれ、今後の事業展開について考える大きなヒントとなりました。



【研修会の様子】

ハタハタ加工品製造業懇談会を開催

7月13日(金)、秋田県総合食品研究センターにおいて、ハタハタ加工品製造業者等を対象とした懇談会を開催しました。

本事業は、企業が連携して事業展開することにより、ハタハタ加工品製造業界の発展を図ることを目的としています。

今回は、ハタハタ加工商品の販売促進に関する課題等について意見交換を行ったもので、加工業者の多くは連携の必要性を感じているものの、規模間格差等の問題を抱えていることから、引き続き本事業を活用して連携の道筋を探ることとしています。



【懇談会の様子】

支援団体活動レポート

通常総会・第1回研修会を開催 ～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

6月28日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長、15会員)の平成24年度通常総会及び第1回研修会が開催されました。

通常総会では、平成23年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成24年度事業計画(案)、収支予算(案)が原案どおり満場一致で可決決定されました。

また、役員改選が行われ、会長にコーディネーター秋田協同組合の佐賀善美理事長が再任されました。

引き続き第1回研修会が行われ、(株)華奇専務取締役である松田紗代子氏を講師として「中国人から見た日本～違いを知り、互いを知る～」と題して講演が行われました。松田氏は「日本人と中国人のお互いの印象や考え方の違いを再確認し、相手の気持ちをしっかりと受け止めることこそ、円滑なコミュニケーションにつながる。中国人の能力を最大限に引き出すためには、個人の一番いいところを見つけて、任せることが重要である」と述べられ、受講者は熱心に耳を傾けていました。



【研修会の様子】

通常総会・第1回研修会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～

7月20日(金)、秋田市の「第一会館本館」において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成24年度通常総会並びに第1回研修会が会員32名の出席の下に開催されました。

通常総会に先立ち、組合士認定証書の伝達式が行われ、本年度組合士に認定された木村慎次氏(協同組合横手卸センター)、佐藤和人氏(能代白神リサイクル協同組合)、佐藤美菜子氏(大曲仙北電気工事協同組合)の3名に対し、本会高橋専務理事より認定証書を伝達しました。

通常総会では、平成23年度事業報告、収支決算が承認されたほか、本年度の活動方針等を含めた平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)等が原案どおり満場一致で可決決定されました。

また、役員改選が行われ、会長に堀川深雪氏(協同組合秋田卸センター)が再任されました。

引き続き、第1回研修会が行われ、講師の株式会社NTTドコモ東北支社秋田支店法人営業担当課長の小原洋之氏から「ビジネスを変えるスマートフォンとタブレット」をテーマに講演が行われ、出席者にタブレット端末を配り、実際に操作しながら、写真を撮るだけで名刺の内容を連絡先リストに登録するなど、タブレット端末を使った業務の効率化について提案していただきました。小原氏は、移動中でも文書の編集等の仕事ができる点等をあげ、これからのビジネスシーンにおける様々な活用方法について助言がありました。



【研修会の様子】

通常総会・第1回研修会を開催 ～秋田県異業種交流倶楽部～

7月23日(月)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて、秋田県異業種交流倶楽部(会員：6グループ)の平成24年度通常総会並びに研修会が開催されました。

通常総会に先立って研修会が行われ、講師の東北職業能力開発大学校校長の三浦隆利氏から、「大震災と復興における東北の新たなチャレンジ～新産業の視点は何処に～」と題して講演が行われ、東北での再生可能エネルギーの可能性の観点から、東北地域における活性化のヒントが紹介されました。

通常総会では、平成23年度の事業報告及び収支決算が満場一致で承認されたほか、平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)が原案どおり可決決定されました。

また、役員改選が行われ、会長に齊藤健悦氏(株式会社アイセス)が再任されました。



【研修会の様子】



■50周年記念「市民市場祭」を開催

～協同組合秋田市民市場～

協同組合秋田市民市場(川村忠理事長)では、設立50周年を記念して6月28日(木)から30日(土)までの3日間と、7月5日(木)から7日(土)までの3日間の2回に亘り、50周年記念祭を開催しました。

記念祭では、クロマグロの解体競り市やうどんの早喰い大会、さくらんぼの種飛ばし大会、直営する「いちばん寿司」の半額セール等が行われ、来場者に市民市場を大いにPRしました。

当組合では、今後も市民の台所として秋田の伝統食を伝えていくとともに、資源循環型社会に対応して生ゴミや発泡スチロールのリサイクル活動を行うほか、8月からは、株式会社あきた市民市場メイトを通じて、新たに配達サービスなどに取り組んでいくこととしています。



【秋田市民市場】

■40周年記念「インテリアフェスティバル」を開催

～秋田県室内装飾事業協同組合～

秋田県室内装飾事業協同組合(野口久栄理事長)では、7月21日(土)、秋田市のイオン秋田御所野店セントラルコートにおいて『インテリアフェスティバル2012』を開催しました。

インテリアフェスティバルは本年10月に、組合創立40周年を迎えるにあたり、記念事業の一環として企画したもので、内装材のメーカーを集めて展示を行うのは組合として初めての試みです。

当日は、カーテン生地を使ったエコバッグ作りやカーペットを使用したキッズデザインコンテスト等のイベントが行われ、好天にも恵まれて多くの家族連れで賑わい、カラフルで機能的なカーテンや壁紙に直接触れてもらうことで、インテリアを見直し、買い換え需要を掘り起こす絶好の機会となりました。



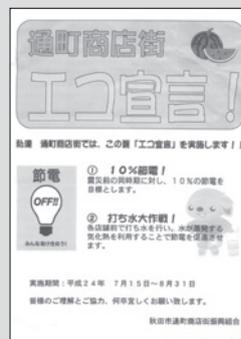
【インテリアフェスティバル】

■節電に取り組んでいます

～秋田市通町商店街振興組合～

秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長)では、今年度「通町商店街エコ宣言」を採択し、電力使用量を前年比10%削減することを目標に掲げて、毎夕に各店舗が打ち水を行うなど、商店街全体で夏期の節電に取り組んでいます。

実施期間 平成24年7月15日(日)～8月31日(金)



～プルタブ回収へ引き続きご協力をお願いします～

本会では、本年4月より社会貢献活動の一環として空き缶の蓋についているプルタブ(アルミ)の回収に取り組んでいます。組合関係者等からたくさんのご協力をいただき、7月末日現在で約30kgのプルタブが集まりました。ご協力ありがとうございます。

車椅子と交換できる量にはまだまだですが、これからも続けて参ります。組合の方で、一定量が集まりましたら、本会職員が回収に伺いますので、今後とも引き続きご協力をお願いいたします。

受賞おめでとうございます

米澤前会長が秋田市功労者表彰を受賞

7月12日(木)、本会前会長の米澤實氏は産業の振興発展への功績が認められ、秋田市功労者表彰を受賞されました。

今後、益々のご隆昌とご健康をご祈念申し上げます。



【米澤 實氏】

インフォメーション

被災者支援イベントの開催に協力要請

6月27日(水)、「BRONZE道心 風の輪ライブ実行委員会」の植村道代氏等が本会を訪れ、本会高橋専務理事に対し、被災者支援など自らの活動の紹介と復興支援ライブの開催について協力要請がありました。

本会では被災者支援という趣旨に賛同し、風の輪ライブに関する後援を快諾しました。イベントの概要は以下のとおりです。

『BRONZE道心 風の輪ライブ2012 時代の架け橋』

◇会場 秋田市文化会館大ホール

◇日時 10月21日(日) 午後5時～

【お問い合わせ先】 BRONZE後援会(担当：植村 道代)

☎090-6225-8293



【後援の依頼をする植村氏(右)】

「中小企業 IT 経営力大賞 2013」 募集 ～経済産業省～

経済産業省では、全国中小企業団体中央会等との共催で、優れたIT経営を実現し、かつ多くの中小企業がIT経営に取り込む際の参考になるような中小企業等を募集しています。

この制度は、中小企業のITの利用・活用に取り組む意欲を増進させ、生産性向上・国際競争力強化に繋げることをねらいとしています。

○事前申請締切：平成24年9月7日(金)

○応募締切：平成24年9月28日(金) 午後5時まで

【お問い合わせ先】

中小企業IT経営力大賞事務局(特定非営利活動法人ITコーディネータ協会内)

〒105-0011 東京都港区芝公園1-8-21 芝公園リッジビル8階

☎03-5733-8380

URL <http://www.it-keiei.go.jp/award/2013/>

平成24年度中小企業組合検定試験にチャレンジしませんか！

全国中小企業団体中央会では、中小企業組合役職員の資質向上と組合士制度の普及を目的に、毎年、中小企業組合検定試験を実施しております。

中小企業組合検定試験に合格することは、中小企業組合に従事する人がプライドを持って組合活動に専念し、自己啓発を進めるための目標になりますので、是非チャレンジしてください。

なお、本会では試験直前に受験対策講座を実施する予定です。

①試験科目	「組合会計」、「組合制度」、「組合運営」
②試験日	平成24年12月2日(日)
③試験会場	秋田市内
④受験料	5,000円(一部科目免除者は3,000円)

【お問い合わせ先】 本会調査広報課 ☎018-863-8701

経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済）のご案内

経営セーフティ共済は、取引先の突然の倒産が原因で経営悪化の危機に直面してしまった時に資金を借り入れることができる制度で、中小企業を守るために国がつくった共済制度です。

【制度の特徴】

- ・回収困難となった売掛金(被害額)相当の資金を調達できます。(積立掛け金の10倍の範囲内で、最高8,000万円)
- ・「取引先の倒産」と「商取引の事実」の確認で迅速に貸付を実行します。
- ・無担保・無保証人です。
- ・毎月の掛け金は税法上、必要経費または損金に算入できます。

【お問い合わせ先】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 共済相談室

☎050-5541-7171

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>



組合ティールーム

秋田県豆腐油揚商工組合

理事長 矢吹達夫さん

◎業界の現状について

当組合は、戦後のモノ不足の時代に豆腐製造業者が材料の大豆を確保する目的で設立しました。経済が活性化して、町にスーパーが出来るくと、豆腐屋は、設備投資をして機械化による量産を始めましたが、近年、スーパーの管理部門の集約化が加速して、グループ全店への納品となると、設備投資が追いつかなくなりました。

また、原材料についても、輸入大豆は中国等の需要に押され、価格が値上がりしていますが、製品価格への転嫁は難しく、経営環境は非常に厳しい状況です。

◎理事長としての抱負

スーパーとの取引においては、大手企業がひしめき合っていますが、隙間は絶対にあるはず。「自分の商売に誇りを持つこと」、「自分の商売を好きになること」が大切で、良い製品づくりに取り組み、自分の商品に自信を持つことにより、活路を見い出していきたいと思えます。今、豆腐製造業は、「もう一段階上の協業化」を考える時期に差し掛かっていると感じています。小さな市場を巡って隣同士がけんかをするのでなく、組合全体、秋田県の豆腐製造業全体で良い商品作りに取り組み、県外の大手にも対抗できる、そういう認識を持って頑張ります。

いずれは、「豆腐といえば秋田県」と言ってもらえるようにするのが目標です。

◎座右の銘について

私の好きなことばに「縁尋機妙多逢聖因」というものがあります。「良い人との縁がさらに良い縁を重ねて発展していく」、また、「良い人に交わっていると良い結果に恵まれる」という意味ですが、人との縁を大切にすることに心がけています。

◎趣味について

趣味は、スポーツ観戦です。学生の時はバスケットボールに熱中しており、本県のプロバスケットボールチーム・秋田ノーザンハビネッツの中村和雄ヘッドコーチは我々世代のヒーローでした。現在は、忙しいこともあり、スポーツは「するもの」から「観るもの」に変わりました。いろいろなスポーツの試合を観ますが、特に、プロ野球は阪神ファンです。

